

製品名: ニーマンピック C1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86256**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:100,FC 1:100-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW:142 kDa; Observed MW:160-180 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------|
| 遺伝子名 | Niemann Pick C1 |
| 別名 | NPC |
| 遺伝子 ID | 4864 |
| SwissProt ID | O15118 |
| 免疫原 | ヒトニーマンピック C1 の合成ペプチド |

背景

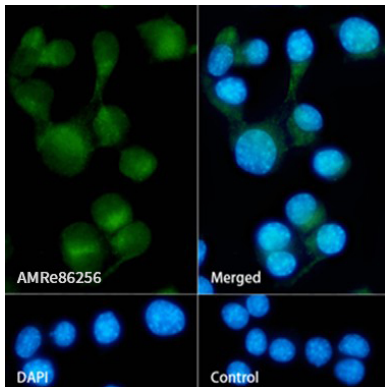
この遺伝子は、エンドソームおよびリソソームの境界膜に存在する大きなタンパク質をコードし、コレステロールを N 末端ドメイン

に結合させることで細胞内コレステロール輸送を媒介します。細胞質 C 末端、13 の膜貫通ドメイン、そしてエンドソーム内腔に 3 つの大きなループ（最後のループは N 末端に位置する）を有すると予測されています。このタンパク質は、低密度リポタンパク質を後期エンドソーム / リソソーム区画へ輸送し、そこで加水分解されて遊離コレステロールとして放出されます。この遺伝子の欠陥は、後期エンドソーム / リソソーム区画におけるコレステロールとスフィンゴ糖脂質の過剰蓄積を特徴とする、まれな常染色体劣性神経変性疾患であるニーマン・ピック C 型病を引き起こします。[RefSeq 提供、2009 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



ニーマン・ピック C1 ウサギモノクローナル抗体を使用してニーマン・ピック C1 を標識した Neuro-2a 細胞の免疫蛍光分析。